

## 11月22日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①世界一の無責任(2024年11月18日)

- ▽「ロシアの領土深くまで攻撃していいよ」と言って森にフェードアウトする老人
- ▽「あとは野となれ山となれ」

<https://x.com/i/status/1858300216778363283>



[https://x.com/Kumi\\_japonesa/status/1858300216778363283?s=09](https://x.com/Kumi_japonesa/status/1858300216778363283?s=09)

### ②トランプ大統領はロシア領内への攻撃を許可したバイデンの決定を覆すと約束(2024年11月19日)

トランプ大統領によれば、この決定は「事実上、世界を第三次世界大戦に突入させる」ものだという

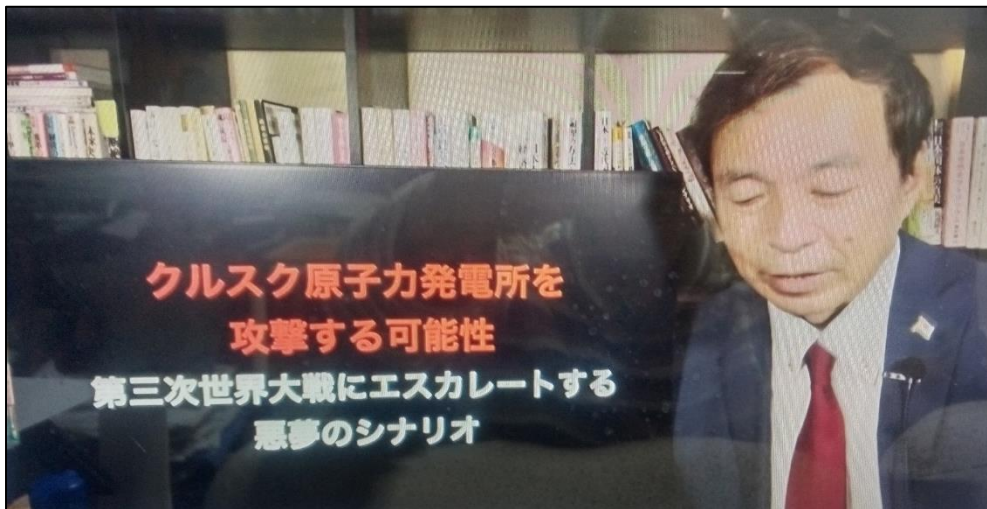
<https://x.com/i/status/1858829254605369783>



<https://x.com/Reloaded7701/status/1858829254605369783?s=09>

**③【緊急速報】ウクライナがロシア領土をミサイル攻撃：第三次世界大戦にエスカレートするか？【及川幸久】(2024年11月20日)** ※重要情報です

<https://youtu.be/oF1AzSX7UGA>

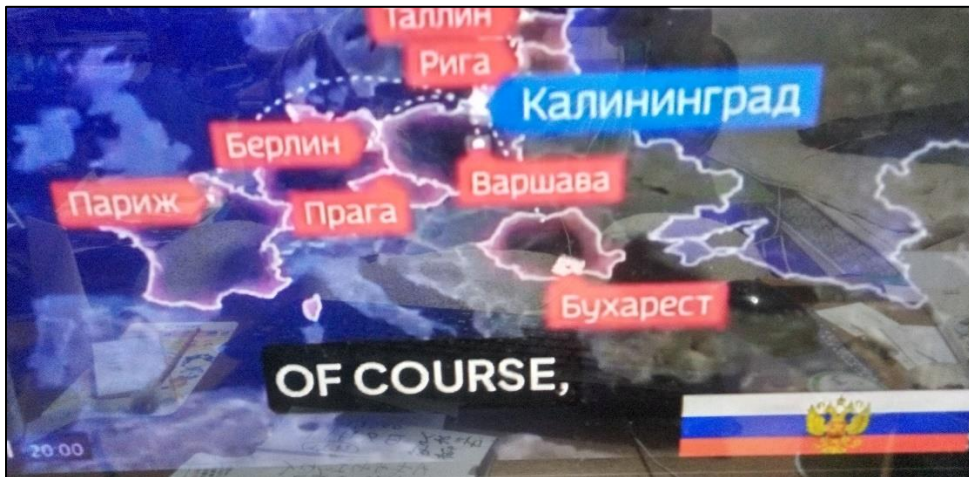


<https://www.youtube.com/watch?v=oF1AzSX7UGA>

**④ロシア国営テレビ(2024年11月20日)**

ロシアとウクライナの戦争がさらに激化した場合に核攻撃の標的となる可能性のあるヨーロッパ諸国の地図を公開したミサイルが3発あれば、イギリス文明は崩壊するだろう……

<https://x.com/i/status/1858901030324617684>



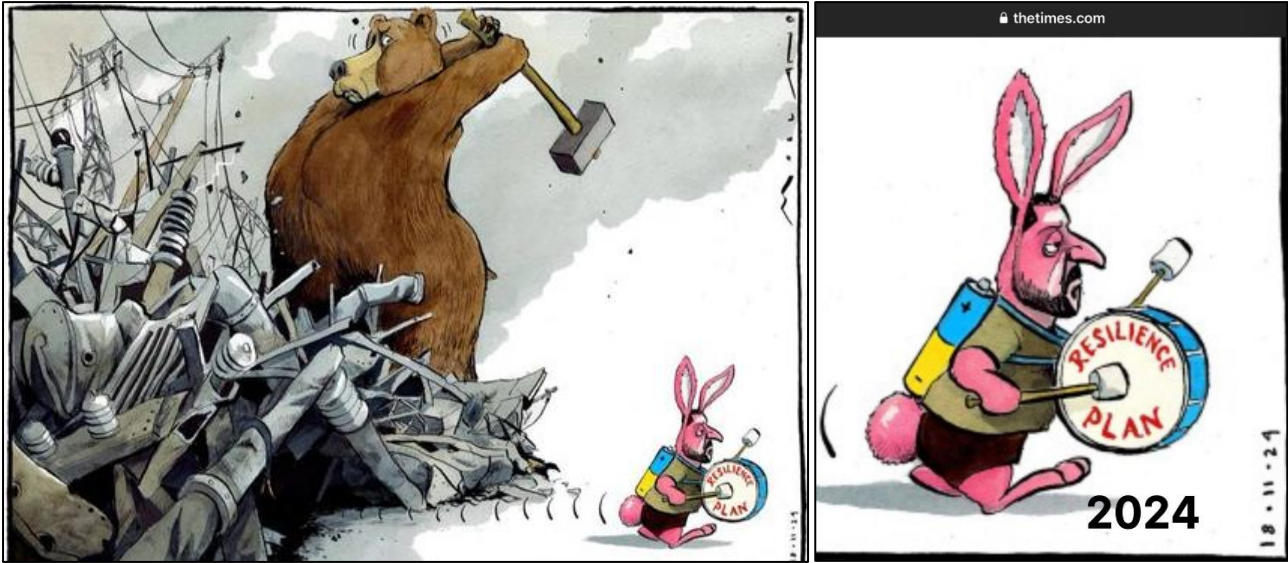
<https://x.com/Z58633894/status/1858901030324617684?s=09>

**⑤ゼレンスキー風刺画(2024年11月19日)**

イギリスの有力紙ザタイムズは、厳しい風刺画を掲載してゼレンスキーとその「持続計画」を嘲笑した。

風刺画では、大ハンマーを持ったクマが機能不全に陥ったエネルギーシステムにとどめを刺しており、電池を背負ったピンクのウサギの姿をしたゼレンスキーが「持続計画」と書かれた太鼓を叩いている。

お金で動くその電池さっさと切れろ



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1858799491434115135?s=09>

## ⑥【Scott Ritter : Biden Suddenly Relevant as He Begins WWII より、緊急なので字幕ではなくテキストです。長いですがぜひ読んでください】(2024年11月19日) ※安齋注:必読

◆スコット・リッター、ようこそ。米国がウクライナ軍に対し、ロシア国内 190 マイルまで届く米国製兵器の使用を許可するという連邦政府からの最新の発表には、どのようなリスクがあるのでしょうか？

### ●スコット・リッター:

このシナリオに直面するのは今回が初めてではないので、リスクはすでに分かっています。最初の例は9月で、ジョー・バイデンは9月13日にそのような認可を出す準備をしていました。しかし9月12日、ロシアのプーチン大統領は、もしこのようなことが行われれば、ロシアは戦争行為と解釈し、相応の反応を示すだろうと明言しました。

バイデンが署名しようとした9月13日、バイデンはホワイトハウスでキーア・スターマー英首相と会談。

ロシアの国連大使は、この文書に署名することは事実上の宣戦布告になると繰り返し強調。この警告はアナトリー・アントノフ駐米ロシア大使も同様で、バイデン政権を代行する元米政府高官との話し合いの結果、ロシアが本気であることを確認。アントノフ大使は、このようなシナリオが核のエスカレーションにつながった場合、つまり核戦争に発展した場合、米国が直接関与することになると明言しました。

核戦争が起こり、アメリカはそれを免れない。

バイデンは賢明にも引き下がりました。ロシアは姿勢を変えていません。ウクライナが ATACMS ミ

サイルを使ってロシア国内、たとえばクルスク州の標的を攻撃すれば、ロシアはこれをアメリカによる攻撃とみなし、それに応じて対応するでしょう。

それは米露間の戦争状態を意味します。

モスクワの情報筋との接触から私が理解したところでは、ロシア人はパニックになっていません。

彼らは、決定はすでに下されたと言っています。

クレムリンでは議論も熟慮もされていません。

ATACMS が使用された瞬間、ロシアは対応するでしょう。その対応はウクライナにとって破滅的なものになり、NATO と米国にとっても壊滅的なものになるでしょう。

**私が「壊滅的」と言ったのは、キエフが破壊されるという意味です。**

核兵器ではなく、巨大なサーモバリック爆弾でキエフのダウンタウンを壊滅させ、そこにいるすべての人を殺すでしょう。

ロシアはキエフを実質的に消滅させるでしょう。

私がこのことを知っているなら、CIA もバイデンもゼレンスキーも知っているはずですが。

**問題は、ロシアがハッターをかますと思っていることです。**

なぜなら、キエフに住む数百万人の命だけでなく、全人類の命がかかっているからです。もし西側が間違っていて、ロシアがハッターでなければ、核戦争が起こり、私たち全員が死ぬでしょう。

◆その装備(ATACMS ミサイル)はアメリカ人によって運用されているのですか？

●スコット・リッター:

はい、100%です。アメリカ人しか操作できません。

誘導システムとデータ入力、ヨーロッパにある国防総省の専門部隊が管理しています。この作業はアメリカの地理空間アナリストによってのみ行われます。

データはアメリカ人が常駐するウクライナのステーションに安全に送信されます。通信には NSA の暗号技術が使われており、アメリカ人しか扱えません。ウクライナ人はアクセスできません。

ミッションの計画からデータのロードまで、すべてアメリカの職員が関与しています。ミサイル発射のボタンが押されれば、ロシアは米国によるロシアへの攻撃、つまり戦争行為と見なすでしょう。

◆ターゲティングを行うのは現役の軍人ですか？

●スコット・リッター:

その通りです。

ウクライナで活動している個人は契約業者である可能性があります。彼らはアメリカ人であり、政府のために働いています。具体的には、現役の軍人か、暗号資料を扱う権限を持つ国防総省の契約業者です。

◆ウォール・ストリート・ジャーナル紙の報道によると、バイデン大統領は、米国の防衛請負業者がウクライナに物理的に滞在する認可に署名したとのこと。それは必要でしょうか？

●スコット・リッター:

はい、しかしそれは ATACMS や F-16 のような装備を扱うことに関連していると思われる。現

在、メンテナンスはウクライナの外で行われています。

今回の認可は、整備をウクライナ国内に持ち込み、ウクライナ軍へのロジスティクスと戦闘支援を合理化することを目的としているようです。

現地でのメンテナンスがなければ、装備品は修理のためにウクライナを離れなければならない、時間がかかりすぎます。バイデン政権には時間がない-ウクライナで何らかの結果を出すには1月20日までしかないのです。ウクライナに人員を派遣することで、時間を短縮しようとしているのです。

◆スコット、なぜ彼らはこのようなことをしたと思いますか？

●スコット・リッター：

彼らはトランプ政権がこの紛争に終止符を打つことを非常に心配しているのです、**ドナルド・トランプがウクライナから離脱するために迅速に動けないような状況を作ろうとしているのです。**

その目的は、今現在、ウクライナがロシアの領土であるクルスクに侵攻していることです。

覚えておいてください、クルスク侵攻は米国によって計画され、指示されました。

ウクライナの代理軍とアメリカの傭兵、そしてロシア人の亡命者などを使った、文字通りアメリカによるロシアへの侵攻でした。

CIA、国防総省、NATO が関与し、真新しい NATO の通信機器を使い、アメリカの戦術を用いました。

彼らは現地に入り、多くの領土を奪取し、それを交渉のテーブルでの取引に利用することが目的でした。

ロシアは侵入を阻止し、現在ロシアはウクライナ人の立ち退きを進めています。もしウクライナ人が1月20日までにクルスクから撤退すれば、トランプ政権との交渉で大きな交渉材料を失うことになります。

つまり、ウクライナが1月20日までにロシア軍の勝利を阻止するために、ウクライナ人を立ち退かせようとしているロシア軍に対してのみ、クルスクでのみ ATACMS ミサイルを使用できるようにすることで、トランプ政権の離脱工作を複雑化させようというわけです。

**これは極めて不道徳で、極めて不公正で、極めて非合法で、トランプ大統領を混乱に陥れるための政治的理由によるものです。**

◆ロシアがアメリカに対して核戦争を先制攻撃として使用する理由は何でしょうか？

●スコット・リッター：

それは彼らが望んでいるわけではなく、彼らの戦略がそうであるからです。そして、ロシアはアメリカに対してその点を伝えようとしてきました。ウラジーミル・プーチンは、ウクライナのドローンがロシアに侵入すること、ウクライナのミサイルがロシアに飛んでくることは一つの問題だと言っています。

しかし、ウクライナのシステム、イギリスのシステム、フランスのシステム、そしてイギリス、フランス、アメリカが関与しなければ使用できないアメリカのシステムを使用したロシアへの大規模な攻撃があった場合、これはウクライナと NATO による指導部打撃(ロシアの指導部や指揮系統を無力化することを目的とした攻撃)を行うための協調的な取り組みであると考えなければなりません。

ですから、このような攻撃が入ってくるのを見たら、対応します。私たちのドクトリンでは、ロシアに

対して大規模な通常軍事攻撃を仕掛けた場合、核兵器で対応することになっています。それだけです。だからやめてください。つまり、それは火を見るよりも明らかです。やめてください。こんなことをする理由はありません。核戦争の引き金になります。核戦争の引き金になります。プーチンが何度も何度も言っているように、決断は下されたのです。私たちはそれについて考える必要はありません。引き金が引かれれば、私たちは自動的に引き金を引くのです。

Scott Ritter : Biden Suddenly Relevant as He Begins WWIII.

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1858804997791903900?s=09>

## ⑦「NATO がこれを行えば、プーチンはウクライナを壊滅させる兵器を使用するだろう」元国連査察官スコット・リッター(2024年11月19日)

「私が聞いたもう1つのことは、これは、ロシアの上院に所属する高官の発言を受けたものですが、その人物がこう述べました。『ロシアはこれまで見たことのない兵器を使用するだろう。この兵器はキエフおよびウクライナに壊滅的な影響を与える。』

基本的には、キエフを消滅させ、ウクライナを近代的な国民国家として機能させなくするでしょう。この兵器が何なのか、いくつかの憶測があります。

ただし、核兵器ではないとされています。

信じられているのは、何らかの大規模な燃料気化爆弾、SLEMP(ストロング電磁パルス)兵器、または電磁パルス兵器の一種で

キエフを更地にし、すべての電子機器を破壊・無力化すると考えられています。

これは、政府の外部ではなく、政府の中にいる人物が、事実として言っているのです。

ですから、ウクライナがこのようなことをすれば、私たちはそれを楽しみにしなければなりません。キエフが消滅する可能性が高いのです」



"Putin will use weapons that will FLATTEN Ukraine if NATO does this" Fmr. UN Inspector Scott Ritter

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1858861702156349586?s=09>

## ⑧ マット・ゲイツは、このような資金の流れ、ルート、出所、受取人を詳しく調べたいとのこと(2024年11月18日)

※注: マット・ゲイツ= マット・ゲイツ(Matt Gaetz)は、共和党下院議員(フロリダ1区選出)を4期務めた。ドナルド・トランプの盟友で、共和党内では熱烈なトランプ派、ポピュリスト、極右の議員とされ、2025年1月に発足予定の第2次トランプ政権における司法長官に指名されている。

「ウクライナの戦争に深く関与したのは、アフガニスタンがなくなったからだと思う。もしアフガニスタンがあり、そこを通じて資金洗浄が続けられていたら、ウクライナにこれほど深く関与することはなかったかもしれない。アフガニスタンとウクライナから判断すると、この戦争ができるだけ長く続くように弱火にしている防衛請負業者が大勢いることが推測できる。事態を20年、あるいは30年以上引き延ばすために。そうすれば、大きな資金が行き交い、さらに多くの不明な鎖が出現し、大量の兵器が購入され、兵器庫は枯渇し、その補充のためにさらに多くの資金が費やされる.....。」

<https://x.com/i/status/1858452334147432703>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1858452334147432703?s=09>

## ⑨ プーチン大統領は核兵器を使用すればロシアが「消滅」を知っている(2024年11月20日)

<https://youtu.be/JNTof4jC3G0>



「プーチンは、NATO との戦争になれば最終的に自分が弱い立場に立たされることを知っている。なぜなら、ロシアは壊滅するだろうと知っているからだ。」

ロシアの核政策の変更は「ブラフ」であり、プーチンは「核兵器の使用に頼るつもりはない」とステイブン・ダルジールは言う。

<https://youtu.be/JNTof4jC3G0>

⑩マクレガー大佐: バイデンが今すぐに止めなければ、ウクライナは完全に破壊され、何も残らなくなるだろう!(2024年11月20日)

<https://youtu.be/61p3GxCE4vg>



<https://youtu.be/61p3GxCE4vg>

⑪Russia News]11/20 時事ネタ水曜版です👍!!(ニキータ伝~ロシアの手ほどき、2024年11月20日)

<https://youtu.be/usj4pmmvmes>



<https://www.youtube.com/watch?v=usj4pmmvmes>



